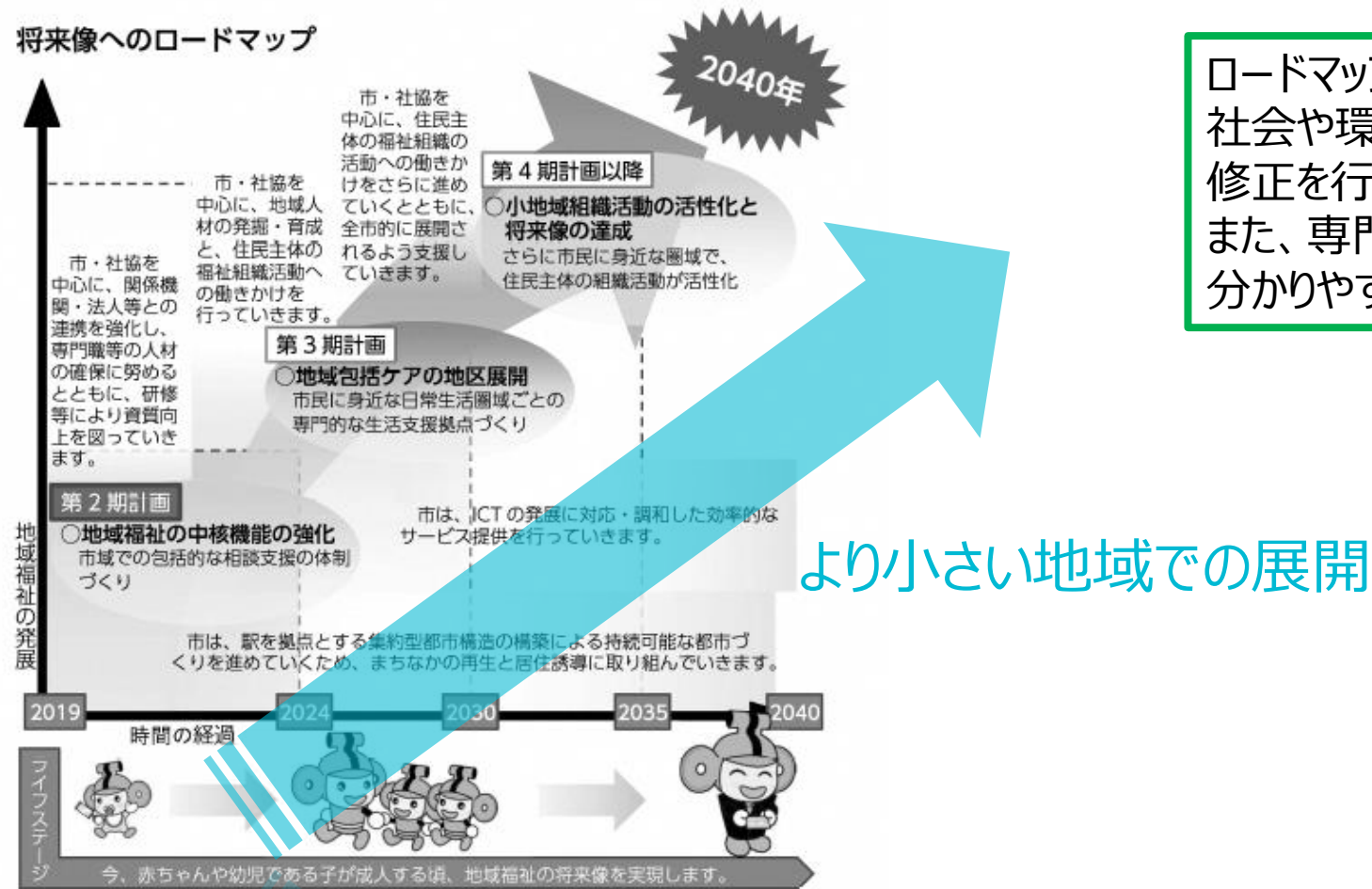


本庄市地域福祉計画・本庄市地域福祉活動計画の施策体系及び構成等について

1. 計画のロードマップ（行程表）について（現行計画P.56）

資料 3



ロードマップが目指す方向性は維持しつつ、社会や環境の変化等を考慮した見直しや修正を行います。
また、専門的な用語は使わず、読み手にとって分かりやすい平易な表現とします。

2.施策体系について

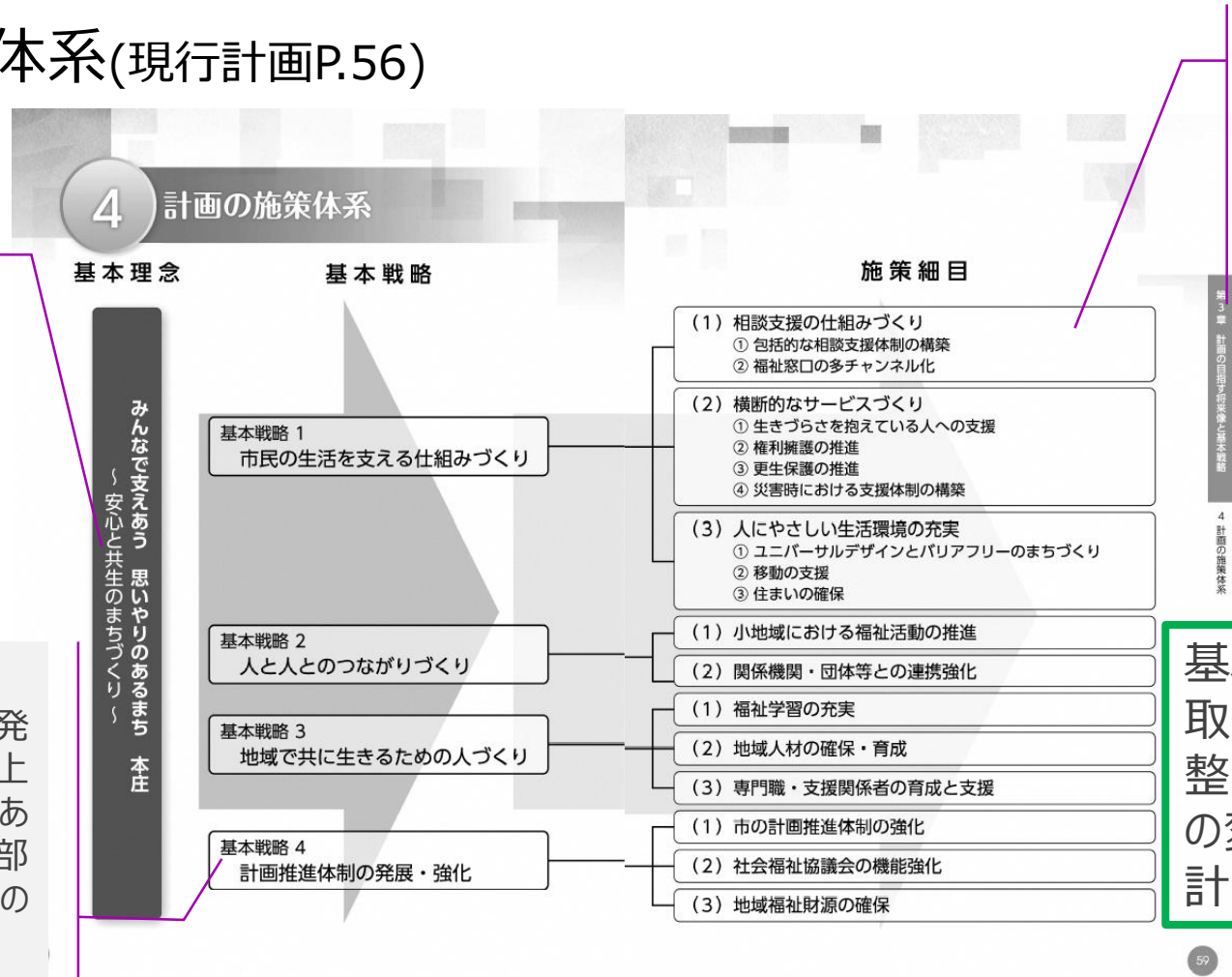
(1)現行計画の施策体系(現行計画P.56)

【①基本理念】

令和5年度からの新たな本庄市総合振興計画における健康福祉分野基本理念「みんなで育む 安心・共生のまちづくり」に変更がないため、本計画の基本理念も維持します。

【②基本戦略】

基本戦略4「計画推進体制の発展・強化」は、計画を推進していく上での体制や財源についての項目であり、他の基本戦略すべてに関わる部分です。このため、基本戦略とは別の項目として整理します。



【③施策細目】

基本戦略 1 のみ丸番号の小項目が記載されているほか、重点事項などが混在しており、全体の構成が分かりにくいことから、各基本戦略の構成を整理します。

基本理念は維持しつつも、事業・取組の追加・整理や施策体系の整理を行うことにより、社会情勢の変化や新たな課題に対応した計画とします。

(2)次期計画の施策体系案

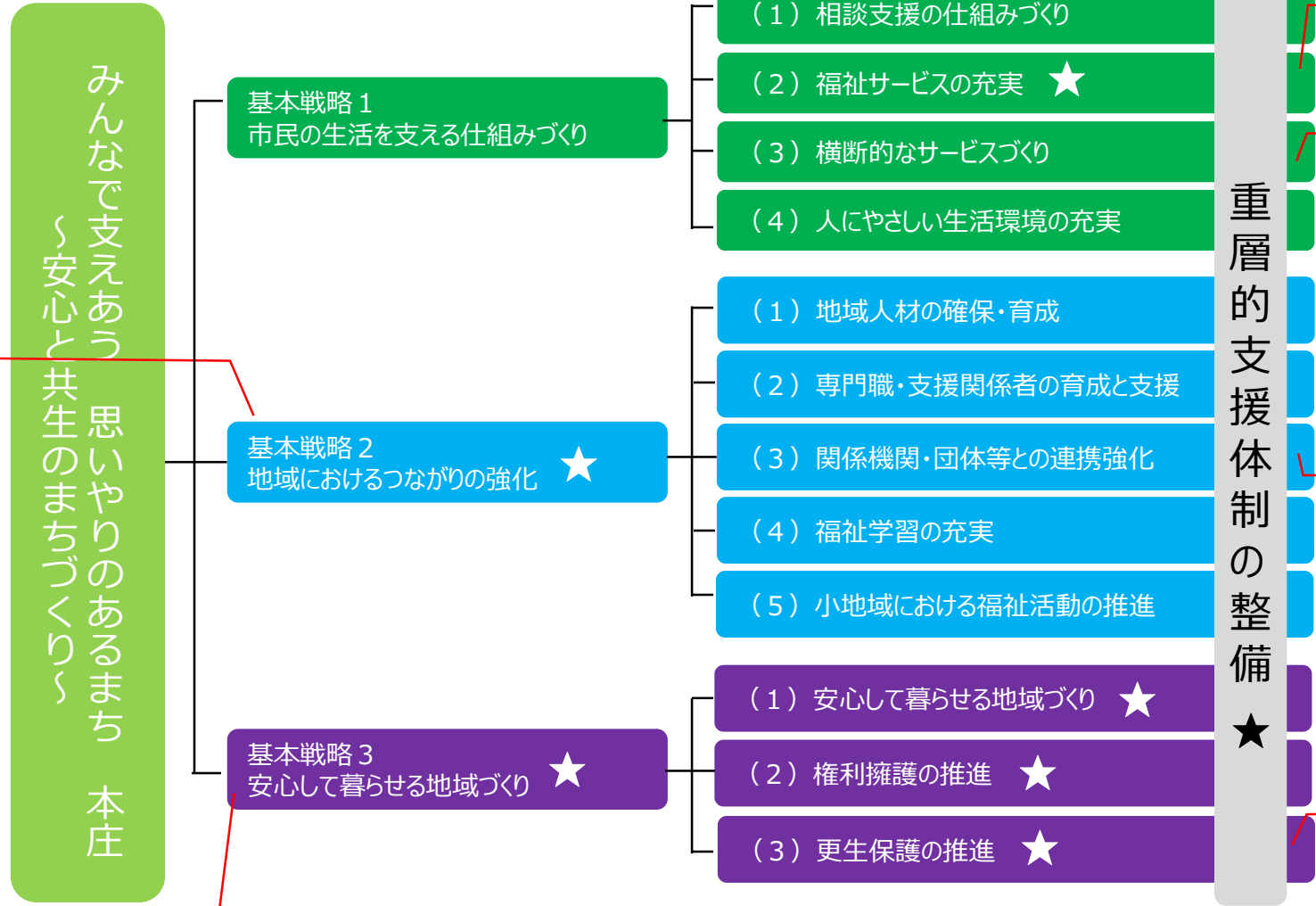
基本理念

基本戦略

施策細目

【①基本戦略2】
現行計画「基本戦略2
人と人とのつながりづくり」
と「基本戦略3 地域で
共に生きるための人づくり」
を統合し、「人」に関
する項目としてまとめます。

【②基本戦略3】
基本理念に掲げる【安心】
に関する、災害時
における支援体制や権
利擁護等に関する施策
を集約し、基本戦略3と
して追加します。



【③(2)福祉サービスの充実】
高齢者・障害者・子ども・生活
困窮など、基本的な福祉サ
ービスをまとめる項目を追加し、
現在取り組んでいる内容の周
知を図るとともに、各課の取組
がより適切に反映されるよう改
善します。

【④基本戦略1各施策細目】
丸番号で記載されていた小項
目や各取組の内容等を見直
し、各基本戦略の構成を整理
します。

【⑤基本戦略2各施策細目】
現在、地域の福祉を支えてい
る人を支援する施策を含むも
のを上位として位置づけていま
す。

【⑥基本戦略3各施策細目】
「安心」につながる取組として
新たに整理することで、それぞ
れの取組の強化・連動を図り
ます。

★は、新規・変更項目を表します

3.次期計画の構成について

【①重点的取組】

実施主体(担当課)を明確にすることにより、効率的で効果的な推進を図れるよう改善します。

【②取組のスケジュール】

継続的な取組に対するスケジュール明示の必要性も含め、検討及び見直しを行います。

市の主な取組

「生きづらさ」を抱えている人に対応するため、市は、「(1)相談支援の仕組みづくり」における施策と連動し、公的な支援と制度外の支援を適切に組み合わせた支援を提供するとともに、誰もが自分らしく生活していくことができる地域社会づくりのために、次の取組を行います。

重点的取組

①生活困窮者自立支援事業の充実

生活困窮者の経済的自立と共に、その人が暮らす地域との社会関係を維持・強化することで自立生活を維持していくことを目的とした支援を展開します。

また、地域に潜在化している生活困窮者を早期支援につなげていくために、関係機関・団体と連携した事業周知を推進し、アウトリーチによる支援対象者の掘り起しを図ります。

②学習支援体制の強化

貧困の連鎖を予防し、子どもの将来の自立を促すため、民間の社会資源を活用するとともに、学校等教育機関との相互連携を強化し、教育と福祉の協力体制を強化します。

③相談支援専門職の確保（再掲）

複合ニーズ世帯への効果的な支援及び社会資源を有効にコーディネートしていくために、相談支援の専門性を持つ社会福祉士等を確保します。

④行政職員・専門多職種の実質向上方策の検討（再掲）

包括的な相談支援体制を効果的に展開するために、実務を担っていく市職員の資質や相談援助技術の向上はもちろんの事、相談支援専門職等の支援に携わる人々が、共通認識を持って業務を遂行できるような研修プログラムを構築します。

⑤自殺対策の推進

平成30（2018）年度に策定された本市自殺対策計画に基づき、自殺対策を推進します。

取組のスケジュール

| 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
|-----------------|----------------|-------|-------|-------|
| ①生活困窮者自立支援事業の充実 | | | | |
| ②学習支援体制の強化 | | | | |
| ③調査研究 | ③相談支援専門職の確保の検討 | | | |
| ④調査研究 | ④研修プログラム等の実施 | | | |
| ⑤自殺対策の推進 | | | | |

関連する市の施策・事業（関連する計画の施策・事業を一部掲載しています。）

| 関係する計画の名称 | 施策・事業名称 | 該当ページ |
|---------------------------------|-----------------|--------|
| 本市総合振興計画 | ①生活困窮者等の支援 | ①56ページ |
| 本市第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画 | ①社会参加の促進 | ①57ページ |
| 第3次本市障害者計画・第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画 | ①社会的に自立できる社会の構築 | ①55ページ |
| 本市健康づくり推進総合計画 | ①休養・こころの健康 | ①78ページ |

コラム 彩の国あんしんセーフティネット事業

埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会では、地域の生活困窮者に対する相談支援事業として「彩の国あんしんセーフティネット事業」を行っています。地域の社会福祉法人が、失業・虐待・病気などが原因で生活に困っている人の身近な相談機関となり、訪問・相談を通して相談者の自立を促します。緊急を要する場合には、食料費等の経済的援助も行います。

そのほか、相談者の状態や特徴に合わせて就労訓練の場を設ける「就労支援事業」や、必要な世帯に子どもの衣類等を無償で提供する「衣類バンク事業」などがあります。

平成31（2019）年1月現在、本市では5つの社会福祉施設が、社協と協働してこれらの事業に取り組んでいます。

コラム 社協でのフードバンクの取組

社協では、諸事情により今日・明日の食糧がない人への支援として、市民の皆さんや事業所等へ食品の提供を呼びかけ、寄附された食品を活用しています。

賞味期限1か月以上の期間があり、常温で保存できるものがございましたら、ご協力ください。詳細については、社協までお問合せください（☎0495-24-2755）。



【③関連する市の施策・事業】
計画期間がそれぞれ異なるほか、名称や該当ページも都度変更されるため、表示する内容を見直します。

【④コラム】
各コラムの内容について精査し、認知が進んだ用語は整理するほか、資料編の用語解説としての掲載を検討します。

これまで以上に読み手にとって分かりやすく・伝わりやすい構成とするため、記載する内容を整理します。
また、より効率的で効果的な推進を図るため、実施主体を明確にします。